

『森里海を結ぶ（1）「いのちのふるさと海と生きる」（花乱社）』
『森里海を結ぶ（2）「女性が拓くいのちのふるさと海と生きる未来」（昭和堂）』

出版記念祝賀会開催のご案内

東日本大震災から6年数ヶ月が経過しました。全国民が共有した震災の経験はしだいに風化し、何事もなかったかのような日常が蔓延し始めています。

しかし、福島第一原子力発電所崩壊の事後処理が進まないばかりか、福島県から各地に避難された人々への言われなき差別や子供たちへのいじめに代表されるように、深刻さを増すこの国の現状や行く末が大変懸念されます。

2013年以来東日本大震災に関わるシンポジュムが、（一社）全国日本学士会の主催により、毎年開催されてきました。

それらのシンポジュムの講演録や特別寄稿として会誌「ACADEMIA」に寄稿された多様な原稿を「いのちのふるさと海と生きる」を軸に組み立て、その根底に流れる「森里海のつながり」を基本にした、震災復興を乗り越え真に持続可能なつながりの価値観を築き直す二冊の本が5月末に誕生する運びとなりました。

東日本大震災は、いのち、ふるさと、海、ともに生きることを、根源的に考え直す必要を私たちに問いかけました。

1冊は男性ばかりによる『森里海を結ぶ（1）「いのちのふるさと海と生きる」（花乱社）』であり、もう1冊は女性ばかりによる『森里海を結ぶ（2）「女性が拓くいのちのふるさと海と生きる未来」（昭和堂）』です。

これら二冊の本には、多様な分野の皆様から理念と実践の両面にわたる多くの示唆に溢れる原稿が寄せられました。

そこで、本書の刊行を記念し、関係者やご関心をお持ちいただいた皆様が集い、懇親を深めるとともに、これら二冊が共鳴しながらいっそう普及することを願い、出版記念祝賀会を別紙のとおり開催することに致しました。

出版記念祝賀会へ多くの皆様方のご参加を心よりお待ち申し上げます。

平成29年4月吉日

「いのちの本」出版記念祝賀会世話役

舞根森里海研究所長 田 中 克
一般社団法人全国日本学士会専務理事 岡 田 和 男

『森里海を結ぶ（1）いのちのふるさと海と生きる』

はじめに 「いのちのふるさと海と生きる」が問いかけるもの	田 中 克
第1章 生物の進化と文明の歴史をみつめる	
人類の遠い祖先を海に訪ねて 私たちは魚である	西 田 瞳
環太平洋文明から日本の未来を見据える「命の水」の循環	安 田 喜 憲
第2章 海抜0メートルから海辺の暮らしをみる	
「青い」海を守りたい	向 井 宏
里海 Satoumi から見た未来	松 田 治
海遍路 黒潮源流域に幸せの原点を探しに	山 岡 耕 作
環境×暮らし=未来 シーカヤックはタイムマシン	八 幡 曜
第3章 「森里海連環学の」時代 津波の海と共に生きる未来	
つながりの時代を拓く「森里海連環学」	田 中 克
気仙沼舞根湾からの発信 防潮堤といのち	横 山 勝 英
第4章 「森は海の恋人」は海を越えて	畠 山 重 篤
第5章 学生・大学・経済・行政も連携して	
若者が描く「有明海塾」の挑戦	有 明 海 塾
森から海までのつながりの科学と教育	山 下 洋
自然資本経済の勧め 日本モデルが世界を救う	谷 口 正 次
自然の恵みを将来にわたって享受していくために「つなげよう、支えよう	
森里川海プロジェクト」の取り組み	中 井 徳太郎
おわりに いのちと命 未来世代へのメッセージ	田 中 克

『森里海を結ぶ（2）女性が拓くいのちのふるさと海と生きる未来』

はじめに	下村委津子・小鮎由起子
行き交う人のふるさとー気仙沼からハワイを旅して	松 永 智 子
故郷の海、有明海	井 手 洋 子
海を懐かしく思うわけー京都の老舗に生まれて	鈴 鹿 可奈子
ドキュメンタリー映画『赤浜ロックンロール』で描く三陸浜の心意気	
～海がみえねえじやねえか、バカヤロー！～	小 西 晴 子
森の採譜	丹 治 富美子
「森と水政策課」があるまちー鈴鹿山脈から琵琶湖まで流域でつながる	
東近江市の地方再生	山 口 美知子
「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトとつながろう	中 尾 文 子
水を巡る地球環境安全保障ー水・エネルギー・食料ネクサス	遠 藤 愛 子
環境問題の本質としてのいのち	下 村 委津子
その自然環境を守りたいという気持ちが生まれる場所	白 幡 美 晴
あとがき 森から海を想うーいのちのつながり	田 中 克

『森里海を結ぶ（1）「いのちのふるさと海と生きる」（花乱社）』

『森里海を結ぶ（2）「女性が拓くいのちのふるさと海と生きる未来」（昭和堂）』

出版記念祝賀会

開催日時：平成29年6月24日（土）18時～20時

（受付：17時30分から）

開催場所：京都大学医学部 芝蘭会館山内ホール (www.med.kyoto-u.ac.jp/shiran/)

（京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内）

参加費：7千円

【アクセス】

JR「京都」から市バス 206系統

阪急「河原町駅」から市バス 201、31系統

京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」から市バス 201系統

京都市営地下鉄東西線「東山駅」から市バス 206、201、31系統

京阪「出町柳駅」から市バス 201系統

いずれも「京大正門前」下車 東一条交差点南西方向に10m 医学部北門東隣

問合せ先：一般社団法人 全国日本学士会事務局（担当者：岡田）

TEL：075（724）6500 Fax：075（722）3002

E-mail：kazuo.okada1213@gmail.com

「いのちの本」出版記念祝賀会 参加申込書

氏名※	他名
所属団体名	
連絡先※	

※印欄は、必ずご記入願います。

ご連絡先は、電話番号もしくはE-mail Addressをご記入願います。

【参加申込】

参加申込書をご記入の上、平成29年6月14日（水）までにFAXでお送りいただきか、同内容を記載したE-mailによりお申し込みください。

FAX：075-722-3002 (FAXの場合は、切り取らずにお送りください。)

E-mail：kazuo.okada1213@gmail.com